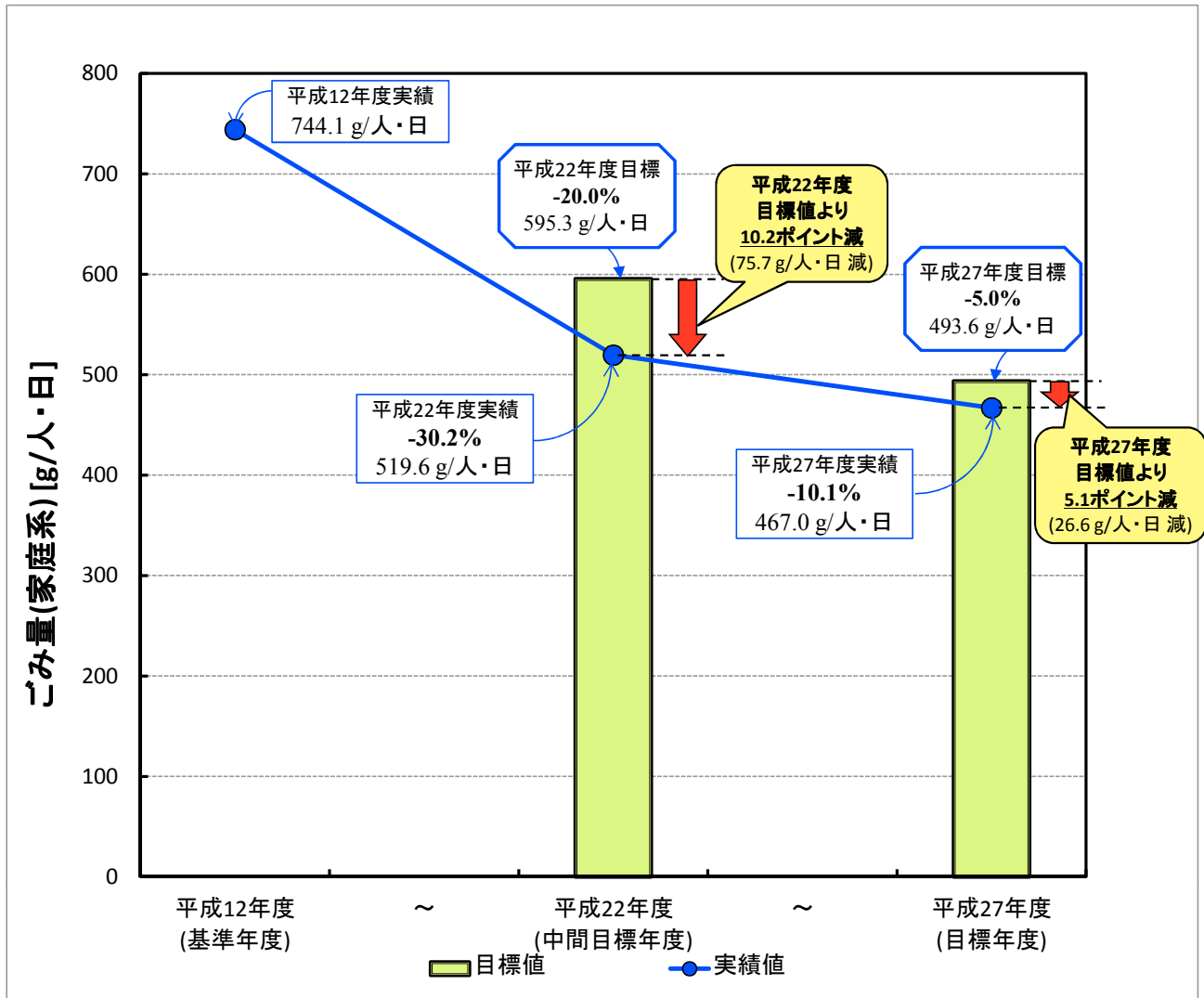


案件 1

「本市のごみ排出量・資源物量の推移について」

本市の家庭系ごみ量の推移(旧計画)

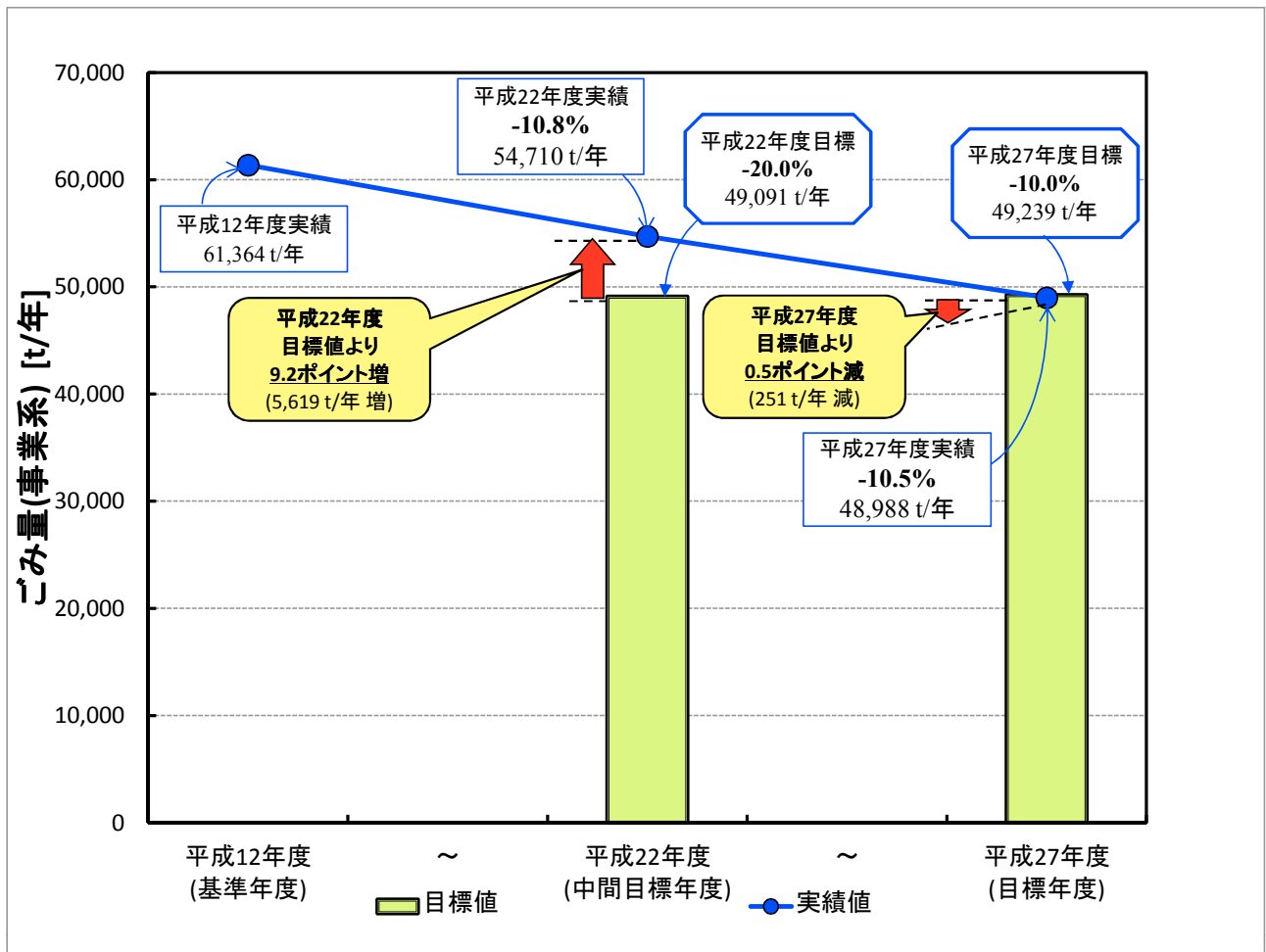


年度	収集人口 [人] (10/1時点) (実績値)	ごみ量(家庭系) [g/人・日]									
		目標値					実績値				
		普通ごみ	粗大ごみ		計	基準年度比 (差分)	普通ごみ	粗大ごみ		計	基準年度比 (差分)
平成12年度 (基準年度)	260,159						626.2	117.9	※1	744.1	
平成22年度 (中間目標年度)	274,194	※2	※2	※1	595.3	-20.0%	450.3	69.3	※1	519.6	-30.2%
平成27年度 (目標年度)	279,458		※3		493.6	-5.0%	411.3	29.0	26.7	467.0	-10.1%

※1 粗大ごみの大型・小型の分類は、平成25年度から開始。
 ※2 平成22年度の目標値は、普通+粗大の合計量でのみ設定。
 ※3 平成27年度の目標値は家庭系ごみの全体量で設定(普通ごみ、粗大ごみの各数値はなし)

- ・平成22、27年度ともに目標を達成した。
 (平成22年度 … -20.0%の目標に対し、-30.2%の実績)
 (平成27年度 … -5.0%の目標に対し、-10.1%の実績)

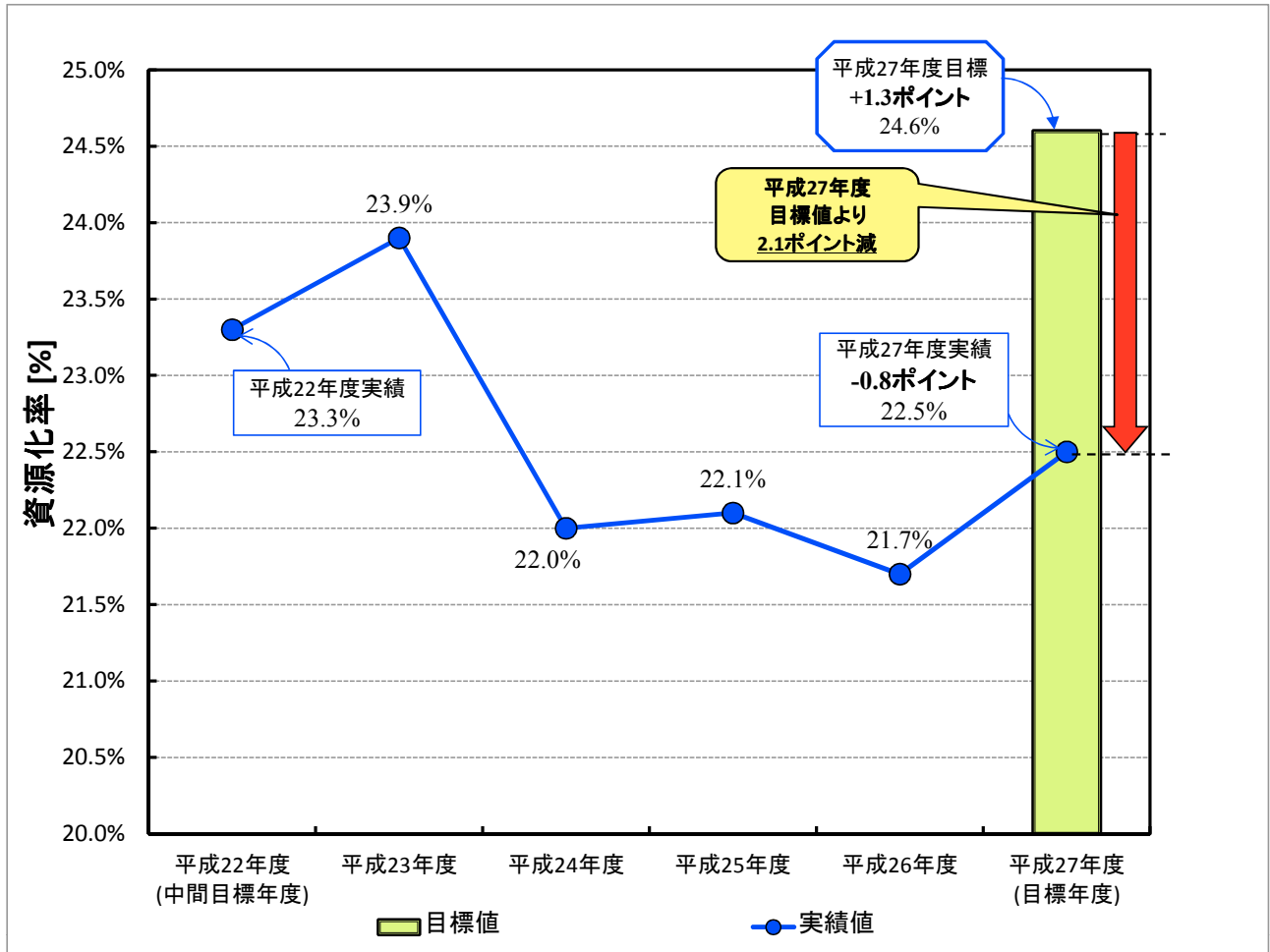
本市の事業系ごみ量の推移(旧計画)



年度	ごみ量(事業系) [t/年]			
	目標値		実績値	
	量	基準年度比(差分)	量	基準年度比(差分)
平成12年度 (基準年度)			61,364	
~				
平成22年度 (中間目標年度)	49,091	-20.0%	54,710	-10.8%
~				
平成27年度 (目標年度)	49,239	-10.0%	48,988	-10.5%

- 平成27年度の目標を達成した。
 (平成22年度 … -20.0%の目標に対し、-10.8%の実績)
 (平成27年度 … -10.0%の目標に対し、-10.5%の実績)

本市の資源化率の推移(旧計画)

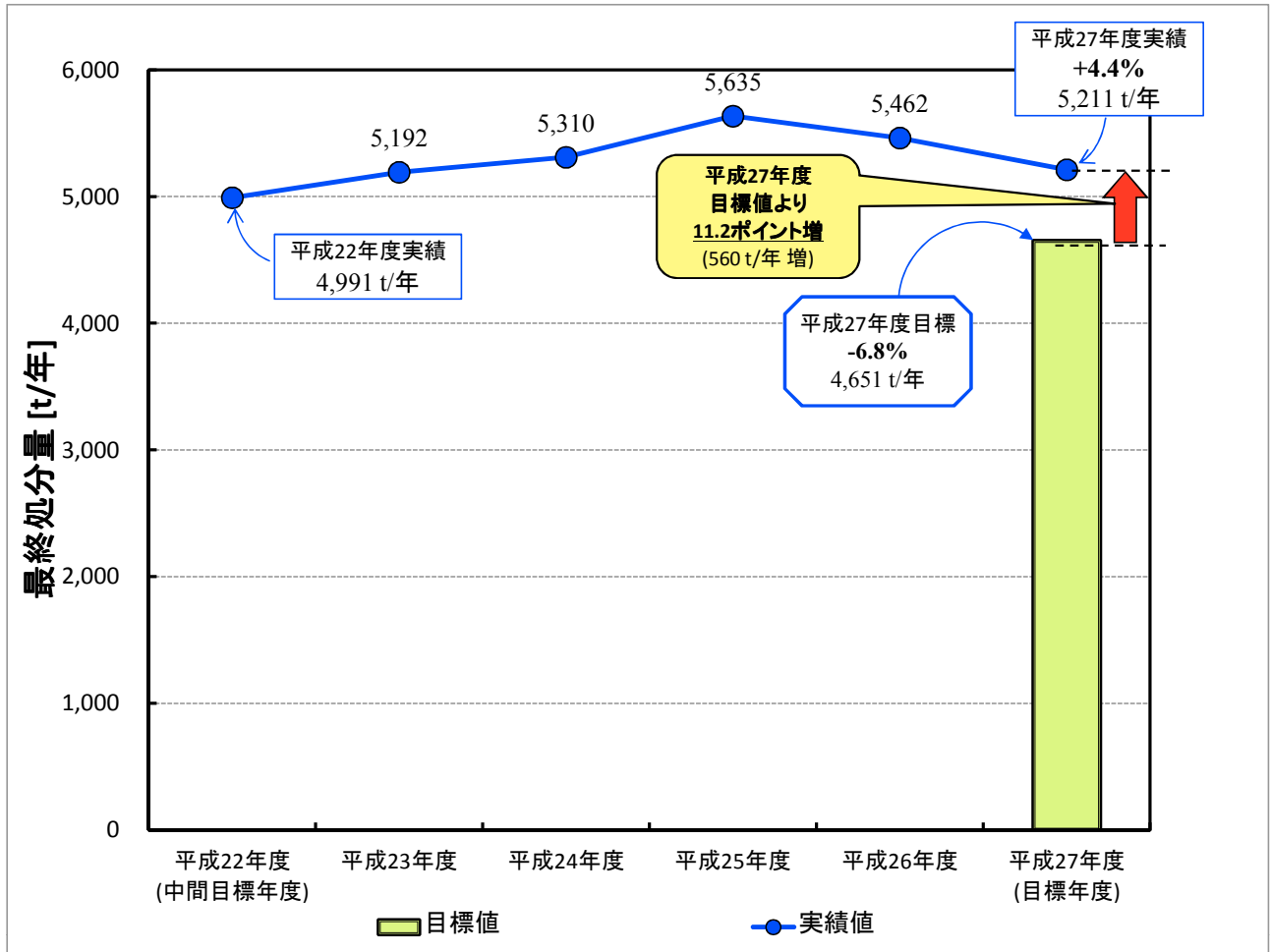


年度	資源化率			
	目標値		実績値	
	量	基準年度差分	量	基準年度差分
平成22年度 (中間目標年度)			23.3%	
平成23年度			23.9%	0.6%
平成24年度			22.0%	-1.3%
平成25年度			22.1%	-1.2%
平成26年度			21.7%	-1.6%
平成27年度 (目標年度)	24.6%	1.3%	22.5%	-0.8%

[補足] 資源化率 = 資源化された量 / ごみ排出量
 資源化された量 … (資源物 + 集団回収物 + 鉄分 + スラグ)
 ごみ排出量 … (家庭系ごみ排出量 + 事業系ごみ排出量)

- 平成27年度の目標を達成できなかった。
(平成27年度 … 24.6%の目標値に対し、22.5%の実績値)
- 目標設定の指標とした『資源化率』にはスラグと鉄分が含まれているため、ごみ処理施設の運転状況も反映されてしまう。資源物回収量の目標値としては扱づらい一面を持つため、平成27年度以降は別の値を指標としている。(=資源化物量)

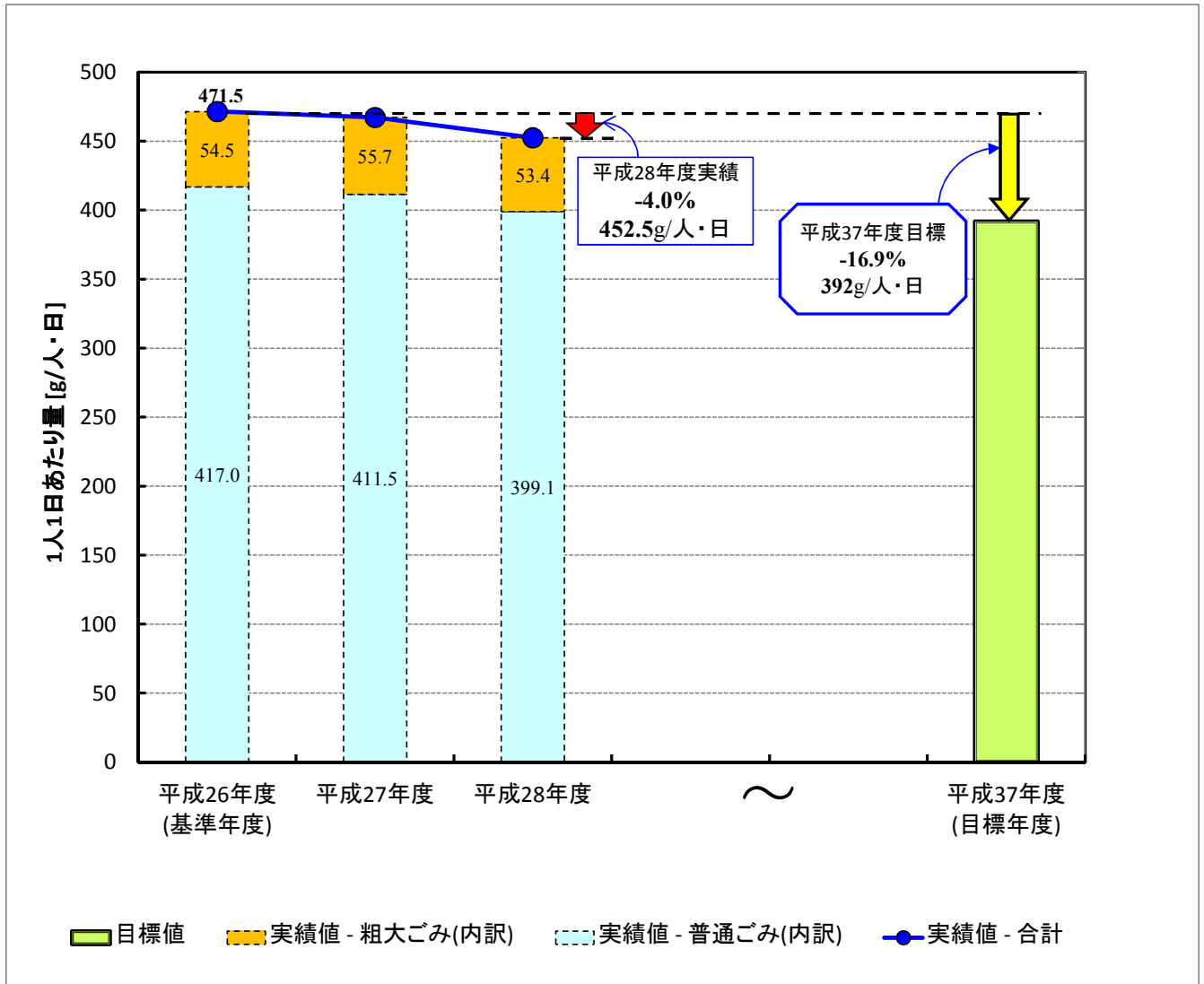
本市の最終処分量の推移(旧計画)



年度	最終処分量 [t/年]			
	目標値		実績値	
	量	基準年度比 (差分)	量	基準年度比 (差分)
平成22年度 (中間目標年度)			4,990.50	
平成23年度			5,191.62	4.0%
平成24年度			5,310.32	6.4%
平成25年度			5,634.76	12.9%
平成26年度			5,462.08	9.4%
平成27年度 (目標年度)	4,651.00	-6.8%	5,211.33	4.4%

- 平成27年度の目標を達成できなかった。
(平成27年度 … -6.8%の目標値に対し、+4.4%の実績値)
- 最終処分量(集塵灰固化物)が減少していない理由として、ごみ質の変動や施設の運転状況による影響が考えられる。
また、平成23年度から開始した他市不燃ごみの受入も要因の一つと思われる。

本市の家庭系ごみ量の推移

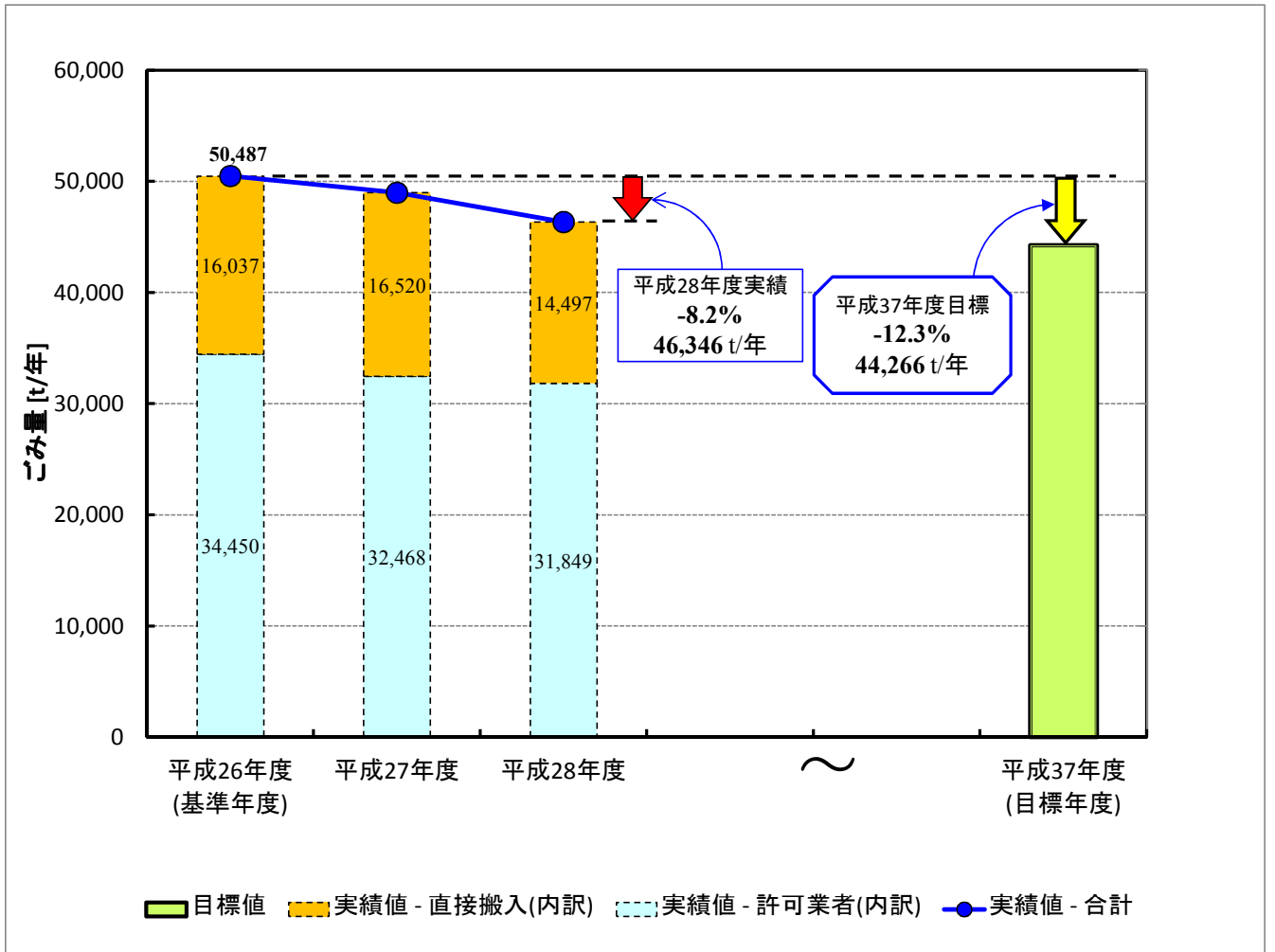


年度	家庭系ごみ ※ 1人1日あたりごみ量 [g/人・日]			前年度 比 (差分)	基準年度 比 (差分)	収集人口 [人] (10/1時点)	家庭系ごみ ごみ量 [t/年]				
	普通ごみ	粗大ごみ					普通ごみ	粗大ごみ			
		小型	大型	計			普通ごみ	小型	大型	計	
平成26年度 (基準年度)	417.0	54.5		471.5		278,588	42,406.00	5,545.00		47,951.00	
平成27年度	411.5	29.0	26.7	467.2	-0.9%	-0.9%	279,341	42,071.39	2,964.04	2,726.78	47,762.21
平成28年度	399.1	28.0	25.4	452.5	-3.1%	-4.0%	280,567	40,873.84	2,862.89	2,599.76	46,336.49
~											
平成37年度 (目標年度)	342.1	49.9		392.0		-16.9%	278,979	34,834.00	5,078.00		39,912.00

※小数第2位で四捨五入

- ・平成37年度目標の基準年度比-16.9%に対し、平成28年度実績は-4.0%であった。
- ・内訳を見ると、粗大ごみでは小型、大型ともに大きな変化が見られない一方、普通ごみは一定の減少傾向が見られた。

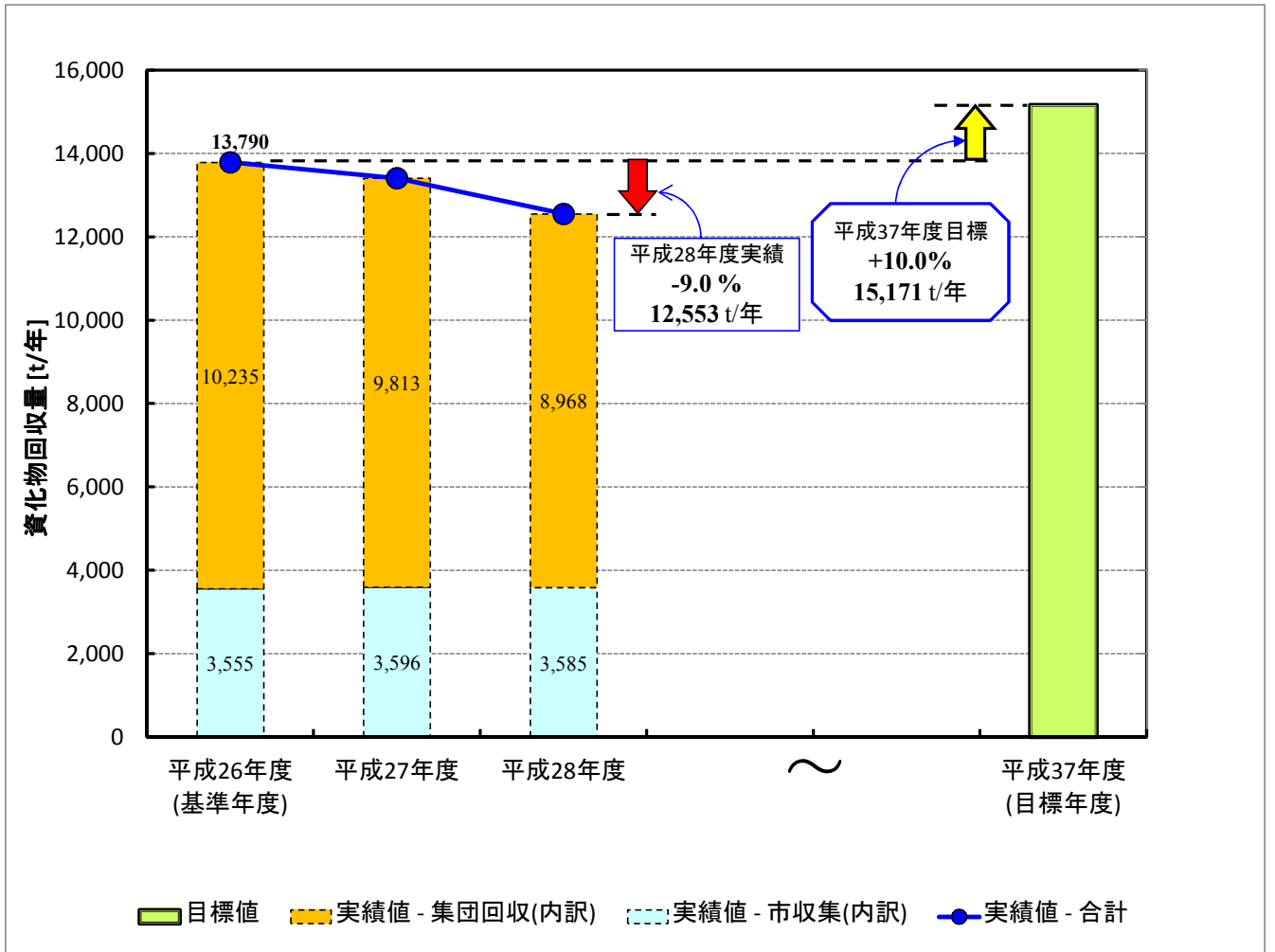
本市の事業系ごみ量の推移



年度	事業系ごみ ごみ量 [t/年]			前年度 比 (差分)	基準年度 比 (差分)
	許可業者	直接搬入	計		
平成26年度 (基準年度)	34,450.00	16,037.00	50,487.00		
平成27年度	32,467.87	16,520.03	48,987.90	-3.0%	-3.0%
平成28年度	31,848.60	14,497.47	46,346.07	-5.4%	-8.2%
~					
平成37年度 (目標年度)			44,266.00		-12.3%

- ・平成37年度目標の基準年度比-12.3%に対して、平成28年度実績は-8.2%であった。
- ・平成27、28年度ともにごみ量が大きく減少している。
(2年間で、許可業者搬入量は約2,600トン、直接搬入は約1,500トンの減量)
- ・ごみ量減少には、搬入物展開検査の実施と排出事業所への指導が影響していると考えられる。

本市の資源物回収量の推移

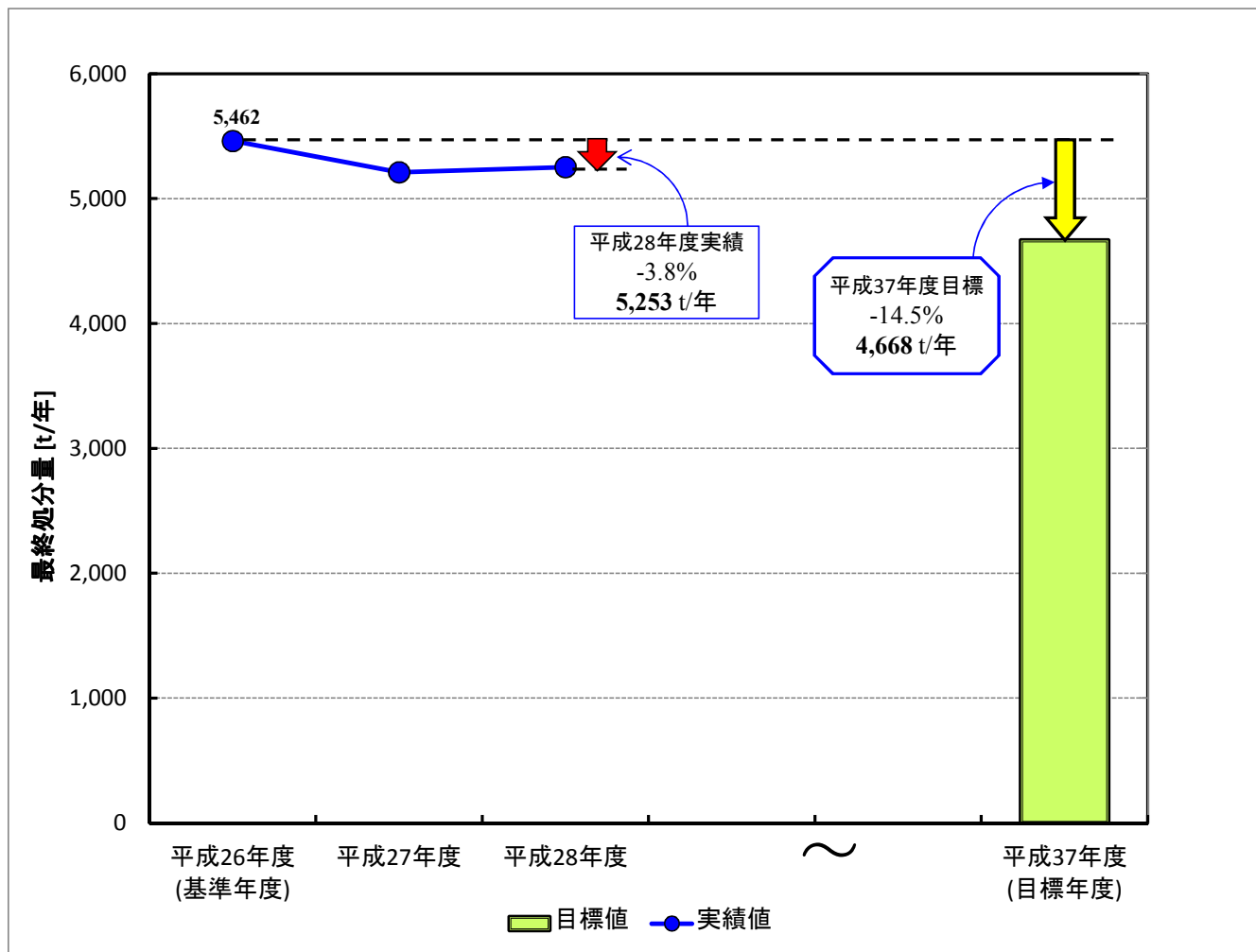


年度	資源物回収量 [t/年]			前年度比 (差分)	基準年度比 (差分)
	市収集分	集団回収分 ※	計		
平成26年度 (基準年度)	3,555.00	10,235.00	13,790.00		
平成27年度	3,595.58	9,812.93	13,408.51	-2.8%	-2.8%
平成28年度	3,584.72	8,968.12	12,552.84	-6.4%	-9.0%
~					
平成37年度 (目標年度)	3,793.00	11,378.00	15,171.00		10.0%

※小数第3位で四捨五入

- ・平成37年度目標の基準年度比+10.0%に対し、平成28年度実績は-9.0%であった。
- ・基準年度比の推移を見ると、平成27年度で-2.8%となり、平成28年度では更に-9.0%まで減少している。
- ・市収集分は微増傾向であるが、集団回収分がそれを大きく上回る幅で減少している。
- ・平成29年度から実施する小型家電の回収にどの程度の効果があるかが注目される。

本市の最終処分量の推移



年度	最終処分量 [t/年]	前年度比 (差分)	基準年度比 (差分)
平成26年度 (基準年度)	5,462.08		
平成27年度	5,211.33	-4.6%	-4.6%
平成28年度	5,252.70	0.8%	-3.8%
~			
平成37年度 (目標年度)	4,668.00		-14.5%

- ・平成37年度目標の基準年度比-14.5%に対して、平成28年度実績は-3.8%であった。
- ・平成27年度の実績は-4.6%であり、平成28年度はそこから0.8ポイント増加した。
- ・ごみ量の他、ごみ質の変動や施設の運転状況が影響した結果、最終処分量の値が増減しているものと考えられる。